

(公財)京都市障害者スポーツ協会	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	------------------------

基本事項

所管局課	保健福祉局障害保健福祉推進室	本市出えん金	5,000 千円
基本財産/資本金	25,000 千円	本市出えん率	20.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	令和元年度
-----	-----	------	-------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	障害者スポーツセンター及び障害者教養文化・体育会館の事業推進に積極的に取り組み、年間利用者の増加を目指す。 また、障害者スポーツの裾野を広げる取組や東京パラリンピック開催を契機とした取組についても、京都市と連携して積極的に取り入れていく。
財務面	指定管理料の削減によって生じる収支バランスの悪化を解消するため、給与の見直しや諸経費の更なる削減等に取り組むとともに、協会を取り巻く環境の変化によって使途の変更が必要な特定費用準備資金を見直し、財政基盤の強化と働きがいのある職場づくりを目指す。
組織面	障害者スポーツ指導員資格の取得等、職員のスキルアップを図るとともに、2つの障害者スポーツ施設間（障害者スポーツセンター及び障害者教養文化・体育会館）での人事交流を積極的に行い、組織を活性化させる。
その他	障害者教養文化・体育会館については、京都市の支援・指導により、ハード面の整備や障害者スポーツの振興等様々な取組を実施し、利用者数の飛躍的な増加等京都市南部地域の障害者スポーツの拠点として発展しているが、今後、京都市全域の障害者スポーツのさらなる振興に資するために、障害者スポーツセンターと障害者教養文化・体育会館との両施設受託の利点を活かし、両施設連携した事業や管理等に向け、所管局との協議、検討を進める。

当年度の取組目標に対する意見

所管局	財務面、組織面において、運営補助や職員派遣もなく健全に運営できており、今後も効果的効率的な運営を期待する。また、2020年東京パラリンピックに向けて、障害者スポーツの普及や選手の育成等、障害者スポーツの裾野を広げる取組を推進してもらいたい。
-----	--

当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)

団体	京都市の方針による自律化の進捗状況については、目標である当年度内の自律化が完了した。 各取組については、「東京2020パラリンピックに向けた障害者スポーツ振興事業」を京都市から受託し、パラスポーツの普及・啓発に努めたほか、非外郭団体として持続可能な運営が継続できるよう、給与規程の制定等を行った。
所管局	自律化に向けて、早急な取組が図られたことにより、当年度内での自律化を達成することができた。 また、本市が委託している「2020東京パラリンピックに向けた障害者スポーツ振興事業」では、元パラリンピック選手を講師として招いたイベントの実施や、アスリートの発掘及び能力開発を目的とした教室の開催など障害者スポーツの裾野拡大に努められた。

(公財)京都市障害者スポーツ協会	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	------------------------

本市のえん率引下げに向けた実施計画			
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
中期経営計画における取組内容	京都府との協議 機関決定と実行		
当年度目標	京都府政策法務課との事前協議 機関決定と実行		
当年度結果(※)	京都府との協議の上、理事会及び評議員会の承認を得て、えん率引下げを実施した。		

(1)業務に関する取組

目標1「施設利用者の拡大(障害者スポーツセンター)」	
中期経営計画における取組	障害のある人の「健康維持・増進」「スポーツ活動」「文化・レクリエーション活動」を更に推進できるよう、これまで実施してきた事業を充実・発展させるとともに、障害のある人や障害者スポーツに対する理解を深める事業を積極的に展開し、障害のない人も含めた新しい利用者の増加に向けて取り組む。
当年度目標	障害者スポーツ事業や文化事業の実施について積極的に取り組むとともに、施設利用の効率化を図り、年間利用者を増加させる。
当年度結果(※)	利用者の高齢化や団体利用における1団体当たりの平均人数の減少等により、年間利用者数が減少した。 これからも京都市の障害者スポーツの推進拠点として、障害者スポーツの振興をはじめ、健康の維持増進、障害のない人との交流など、より魅力のある事業や利用者のニーズに応えた事業を積極的に展開していきたい。

指標①	施設総利用者数 (単位：人)							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	-		177,000		178,000		179,000	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	176,000	176,904	177,000	170,706	-		-	

指標②	教室・講習会等の参加者数 (単位：人)							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	-		27,000		27,100		27,200	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	26,800	27,058	27,000	25,623	-		-	

(公財)京都市障害者スポーツ協会		平成30年度経営計画 兼 経営努力結果	
目標2「施設利用者の拡大(障害者教養文化・体育会館)」			
中期経営計画 における取組	障害のある人の「健康維持・増進」「スポーツ活動」「文化・レクリエーション活動」を更に推進できるよう、既存事業について見直しや統合を行う。 また、障害のある人の利用割合が50%となるよう取り組む。		
当年度目標	事業の充実・発展及び利用施設の稼働率の向上に積極的に取り組み、年間利用者を増加させる。		
当年度結果 (※)	積極的な事業展開により、教室やイベント等の参加者数の増加とともに、年間利用者数も過去最高となった。		

指標①	施設総利用者数 (単位:人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	-		32,000		32,500		33,000	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	30,600	30,925	32,000	34,960	-		-	

指標②	障害のある人の利用割合 (単位:%)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	-		46		48		50	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	44	43	46	43	-		-	

指標③	教室・講習会等の参加者数 (単位:人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	-		6,700		6,800		7,000	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	6,600	7,782	6,700	7,870	-		-	

(2)財務に関する取組

主要財務数値 (単位:千円)							
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考欄
	予算	実績(※)	予算	実績	予算	実績	
経常収益	241,030	246,324					
経常費用	247,829	246,270					
当期経常増減額	△ 6,799	54					
当期正味財産増減額	△ 7,003	△ 150					
資産合計	-	278,699					
負債合計	-	23,700					
正味財産	-	255,000					
うち累積損益額	-	230,000					

(公財)京都市障害者スポーツ協会	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	------------------------

目標1「給与体系の見直し」	
中期経営計画における取組	現行の給与体系を見直し、協会独自の給与規程を策定する。
当年度目標	令和元年度の施行を目指し、協会の財政状況に適した給与規程を策定する。
当年度結果(※)	目標どおり、協会独自の給与規程を作成し、平成31年4月から施行している。

指標	給与規程の策定 (単位：－)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	－		策定		－		－	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	－	－	策定	策定	－		－	

目標2「施設設備の適正な維持管理と計画的な修繕」	
中期経営計画における取組	障害者スポーツセンター及び障害者教養文化・体育会館において、利用者への快適な利用環境の提供や事業の推進等のために、必要な備品等の更新費用を計画的に積み立てる。
当年度目標	新たに始まった指定管理期間の財政状況を踏まえ、特定資産への積立てにより財政を圧迫することがないように、計画的に積立てを行う。
当年度結果(※)	必要額を積み立てることができた。

指標	減価償却引当資産への積立額 (単位：千円)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	－		2,534		1,213		484	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	3,961	3,707	2,534	2,718	－		－	

(3)組織に関する取組

目標1「中級以上の障害者スポーツ指導員資格の取得率向上」	
中期経営計画における取組	職員のスキルアップを図り、京都市域の障害者スポーツの普及・振興を積極的に推進するため、中級障害者スポーツ指導員以上の資格取得者を増加させる。
当年度目標	中級以上の障害者スポーツ指導員の有資格者数を増加させる。
当年度結果(※)	目標を達成することができなかった。

指標	中級以上の障害者スポーツ指導員資格の取得者数 (単位：人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	－		13		14		15	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	11	12	13	12	－		－	

(公財)京都市障害者スポーツ協会	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	------------------------

目標2「施設間の人事交流による組織の活性化及び障害者スポーツ事業等の推進」

中期経営計画 における取組	障害者スポーツセンターを北部地域、障害者教養文化・体育会館を南部地域の拠点として、両施設が一体となり、京都市全域の障害者スポーツ振興を推進するため、両施設間で人事交流を積極的に行い、これまで培ってきたノウハウを有効に活用しあい、それぞれの施設で実施する事業や両施設で協力する事業を積極的に展開する。
当年度目標	両施設の利用者がもう一方の施設を利用するよう大会や体験会等の交流事業を実施するとともに、積極的に両施設をPRし、両施設の年間利用者数の増加を図る。
当年度結果 (※)	両施設の交流を目的とした「交流卓球フェスティバル」や「交流スポーツ吹き矢大会」等を開催することで、障害者スポーツセンターの利用者が障害者教養文化・体育会館を利用する等、障害者教養文化・体育会館の利用者数の増加にもつながった。 また、「コーラス教室」や「お花の体験会」等の文化教室を両施設で積極的に実施したこと等により、連携事業数は増加した。

指標	施設間の連携事業数 (単位：事業)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	-		80		82		84	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	77	72	80	87	-		-	

(4)その他の取組

目標 「両指定管理施設の連携した事業や管理に向けた協議」

中期経営計画 における取組	障害者スポーツセンターと障害者教養文化・体育会館の両施設受託の利点を活かし、両施設連携した事業や管理等に向け、所管局との協議、検討を進める。
当年度目標	早期に実現できるよう、所管局と協議を進める。
当年度結果 (※)	具体的な協議には至っていない。

指標	— (単位：—)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	-		協議		協議		協議	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	-	-	協議	協議	-		-	